

南方中央地区コミュニティだより

発行／中央地区コミュニティ推進協議会広報情報委員会
事務所／南方公民館

第19号 平成30年3月30日発行



中央コ三映画上映会



いつもの場所が、映画館に

南方公民館職員 只野貴寛

二〇一七年四月に公開された、劇場版『名探偵コナン』シリーズの最新作。いつもは発表会等の会場で使用している南方農村環境改善センターのホールが、一月二十日(土)のこの日だけは一日限りの映画館に早変わり。上映会の仕掛け人は、石巻市を中心に全国でも活躍している『オカダプランニング』さん。

やはり、家で見るとは大違い。前から後ろから、大音量で臨場感たつぷりの大迫力に、来場した子供たちはスクリーンにクギ付け。受付の時に貰ったお菓子を食べながら、真剣に見入っていました。映画の上映が終了した後は、来場者全員で抽選会を開催。当選した方々は、記念となるプレゼントを手に取り、「面白かった」「また見に来たいね」等の感想が会場から聞こえていました。

編集後記

今年度も無事に「南方中央地区コミュニティだより第十九号」を発行することができました。ご協力くださった皆さんありがとうございました。

中央地区コミュニティ推進協議会では、地域の皆様にコミュニティだよりを通して情報提供し、コミュニティの機会が持てるよう進めていきたいと思っています。昨年のコミュニティだよりをベースに進めた編集作業で、形は整えられているのですが、わかりやすく皆さんに伝わるように考えるとなかなか難しいものでした。会員の皆様に楽しみにして頂ける紙面づくりに努めたいと考えております。読んで頂いてご感想等が何かありましたらお伝えください。今後に活かしていく所存です。

この一年間、ご協力とご参加いただきましてありがとうございました。来年度もコミュニティだよりを通して事業の内容をお伝えできるよう皆さんのご協力をお願い致します。

集落支援員 永浦恵美



ご挨拶

南方中央地区コミュニティ推進協議会

会長 永浦 勝男

第十九号中央コミュニティだより発行に当り、一筆挨拶申し上げます。二十九年度より会長を引受けましたが、コミュニティ事業について私としては戸惑いもありました。本年度からは南方公民館の館長さん、職員さん、十三行政区区長さん方と一丸となり、事業運営に取り組んでまいりました。

ふれあい運動会から始まり、一つの事業が終わると、笑いと涙、そして感動をもらい会員の心が一つになる喜びを体験致しました。これも推進協議委員皆様のご協力の基で、多くの会員の皆様方に事業に参加して頂きました事に、感謝と御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。事業運営については、改革し事業を円滑にする必要があるとの声や意見がありました。このことから、今後も会員皆様のご指導を賜り、邁進していきたいと思っております。

今年度の事業内容についてはコミュニティだよりをもって御報告させていただきますので、宜しく願います。

結びとなりましたが、会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。



広報情報副委員長 高橋 辰

前日までの雨模様で天気が心配されましたが、朝六時の花火を合図に、平成二十九年度南方ふれあい運動会が五月二十八日(日) 南方中央運動広場を会場に開催されました。

久しぶりの開催となった今回は、採点競技を設けず、五種目の競技を実施しました。たる転がしに苦戦し、なわとびでは息を合わせ、長靴リレーでは転びそうになりながら、最後の玉入れは力ゴにむかって一心不乱に。子供からお年寄りまで、テントからの声援を受けながら楽しく参加されたのではないかと思います。

来年以降も町民みなさんが楽しみながら、健康づくりや世代間交流を深められるよう計画してまいりますので、これまで同様、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

平成29年度

南方ふれあい運動会



視察研修会に参加して

南方中央地区コミュニティ推進協議会

副会長 千葉 哲夫

平成二十九年度の視察研修は、岩手県平泉方面で実施されました。

八月十九日(土)、三十二名を乗せたバスは、最初の視察地『奥州アテルイの里田んぼアート』へ、今年で十年目となるアートは、歌舞伎の連獅子の姿を表現した作品で、稲を使ってこれだけの作品を作るものだと感動致しました。

次の視察地は、平安時代藤原氏の築きあげた世界遺産『平泉』、私はこれまで何度も平泉には行きましたが、今回、中尊寺金色堂(国宝)を拝観した時は、藤原氏の偉大さに改めて胸が引き締まる思いが致しました。

最後の視察地は、鎌倉時代から続く農村の原風景と、当時に描かれた骨寺村絵図(重要文化財指定)を見学致しました。

今回の研修はあつという間の一日でしたが、昼食時には今まで話をした事のない会員の皆さんと気軽に話をしたり、帰りのバスでは「来年はどこへ行くか楽しみだね」という声が聞かれました。



最後に、今回の研修会で先人達が築いた偉大な『歴史と文化』を改めて体感しましたが、私達の住んでいる南方町や地域においても『歴史と文化』があるとされます。いつまでも後世に伝統を継承していかなければならないと、つくづく思いました。

グラウンド ゴルフ



ペタンク



第12回

世代間交流 軽スポーツ大会



広報情報委員 村田 顕弘

平成二十九年年度、第十二回世代間交流軽スポーツ大会が十月三十日（日）南方中央運動広場を会場に開催されました。

晴れ渡った青空の下、年に一度のこの大会を楽しみに、各地区の子どもからお年寄りまで多数の参加をいただきました。グラウンドゴルフ、ペタンクの二種目の競技でありましたが、一生懸命に、そして真剣に白熱した大会となりました。競技後の地区での懇親も楽しめたのではないのでしょうか。

参加人数は決められてはいますが、地域コミュニティ第一に考え、より一層多くの皆さんが参加、交流できる場を提供できるように競技方法等を検討し、進めて参りたいと思います。今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。



ペタンクの部 優勝 高石B



【準優勝】 苔下Aチーム
【第3位】 砥落Aチーム

グラウンドゴルフの部 優勝 山成A



【準優勝】 砥落Bチーム
【第3位】 新高石Bチーム

第3回 なごみ♥サロン



今年のなごみ♥サロンは、十二月十六日（土）中央地区の女性と子供たち、二〇名の皆さんが集い開催されました。この会の狙いは、中央地区の女性の方々に一年間の慰労と感謝を込めて、美しい演奏や歌を聞いたり、ケーキを食べたりしながら、ちょっと早めのクリスマス気分を味わってもらい、なごみのひとときを過ごして頂くという事で企画され、今年で第三回目を迎えました。

今回のゲストは、オカリーナの会の美しい音色で幕があき、清水バンドとかおるさんの素敵な歌、ハッピーズの歌と子供たちの楽しい踊りと、それぞれの皆さんに会を盛り上げて頂き、会場内が熱気に包まれました。

後半のプレゼントコーナーでは、役員四人でサンタのおじさん、トナカイ、来年の干支である犬の着ぐるみ等で場内を一周しましたが、十二月でも暑く汗をかきました。この歳で初めて着ぐるみを身に着け、今思えばいい経験させて頂きました。次回も気持ちいが和らいでもらえるようスタッフ一同皆さんの参加をお待ちしています。

なごみのひととき

南方中央地区コミュニティ推進協議会
副会長 西條 殖文



盆踊り大会

広報情報委員 浅野 正隆

平成二十九年八月十一日（金）、南方公民館駐車場を会場に、南方中央地区コミュニティ主催の盆踊り大会が開催されました。

今年は八月に入り天候不順で、盆踊り当日の予報もおもろしくなく、前日に行われたテントや踊り櫓（やぐら）の設営も、天候に対する不安の中での作業となりました。

当日は盆踊り本番前に、踊りの練習会、ご当地クイズ大会が開催されましたが、予報どおりの小雨にもかかわらず、浴衣姿の子どもや親子連れなど大勢の方々が来場し、会場も盛り上がりつつありました。

南方小学校の皆さんによる大嶽太鼓演奏で盆踊り大会が始まりました。踊り櫓（やぐら）では唄やおはよしの生演奏、佐藤寛一氏による唄も演奏され来場した大勢の老若男女が輪になって踊り日本の伝統文化を満喫していました。

会場内では盆踊りの他、焼き鳥やかき氷の屋台コーナー、昔懐かしい射的や千本引きくじ等の縁日コーナーが設けられ、踊りの合間に訪れた人たちで大変賑わっていました。

今回で二回目の開催となった盆踊り大会ですが、町の名物行事となるように来年も大勢の皆様方の参加をよろしく願います。

